



国立病院機構
南九州病院

地域がん診療病院 日本医療機能評価機構認定病院

【院是】『病む人に学ぶ』
患者さんとともに、安全で良質な、
理想の医療の実現を目指します。

URL <https://minamikyusyu.hosp.go.jp/>

発行：独立行政法人 国立病院機構 南九州病院 Vol.43

2026 秋号

VOL.43

国立病院機構理念

国民一人ひとりの健康と、我が国の医療の向上のため、たゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに患者の目線に立って懇切丁寧に医療を提供し、質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます。



独立行政法人
国立病院機構
National Hospital Organization

南九

MINAMI KYUSHU HOSPITAL

だより

特集

南九州病院の緩和ケア

人生に寄り添う医療 南九州病院の緩和ケア

～あたたかく さりげなく あなたとともに～



特集

人生に寄り添う医療 南九州病院の緩和ケア

～あたたかく さりげなく あなたとともに～

当院緩和ケア棟は、患者さんご家族の思いに寄り添い、その人らしく「今、この時」を過ごしていただけるよう支援しています。

落ち着いた個室と豊かな自然に囲まれた環境の中では、時にボランティア演奏家による音楽会も開かれ、患者さんやご家族に安らぎのひとときを届けています。

令和8年に開設した「がん症状コントロールセンター」では、専門的な症状マネジメントに加え、認定看護師による「ショットガンプロジェクト」を通じて地域とも連携し、病院から在宅まで切れ目のない緩和ケアを実践しています。

今回は7月に新たに赴任した緩和ケア内科医師と、活動中の緩和ケア認定看護師の想いや取り組み、患者さんやご家族、地域の皆さまへのメッセージをご紹介します。

南九州病院の緩和ケアを、より身近に感じていただければ幸いです。

緩和ケア棟看護師長 久永 真由美

インタビュー①

新たに赴任した緩和ケア内科医

西田 博利 医師

幅広い選択肢で、
より専門的な緩和ケアを提供します。

Q. 緩和ケア医として大切にしていることは？

- A. 患者さん一人ひとりの価値観や人生に寄り添い、「何を大切にしたいか」を一緒に考えることです。身体のつらさを和らげることはもちろん、心や生活の不安にも目を向け、その人らしい時間を支えていきたいと考えています。

Q. 新たに強化された治療体制について教えてください

- A. 麻酔科と連携した神経ブロックや、IVR(画像下治療)を導入し、より専門的で効果的な痛みの緩和が可能になりました。

Q. 地域の先生方へのメッセージをお願いします

- A. 緩和ケアは「治療をあきらめた後」ではなく、「早期からの関わり」が大切です。症状が辛い時、対応にお困りの時には、ぜひご相談ください。患者さんご家族を私たちがしっかりと支えていきます。



西田 博利 医師

緩和ケア内科

専門：緩和医療・

IVR 治療がん疼痛治療

資格：所属学会等

- ・日本医学放射線学会
放射線科専門医
- ・日本専門医機構認定
放射線科専門医
- ・臨床研修指導医
- ・がん緩和ケア研修終了医

学生時代はバレー。主将を務めました。
趣味・特技は血管造影IVR。特に救急IVRは今でもアドレナリン全開。空き時間を合わせて、雀友会、男飲み、定例会、昼飲み会、わいわいやってます。活力源は初孫の動画を妻と一緒に見ること。



学生時代のこと

看護学生の頃、緩和ケアの実習で出会った患者さんの「ありがとう」の言葉に心を動かされました。その方がその人らしく穏やかな時間を過ごせたことが、今の私の原点です。

私の想い

患者さんやご家族が大切にしている時間を支えられる看護師でありたい。これからも学びを続け、チームの一員として力を尽くしていきます。

患者さんにご家族に寄り添い、安心できる時間を支えます。

Q. 緩和ケア認定看護師とはどのような資格ですか？

A. 緩和ケア認定看護師は、専門的な教育課程を修了し、認定審査に合格した看護師です。患者さんやご家族への専門的な看護を実践するとともに、多職種との連携や院内スタッフへの教育・相談支援も担っています。私たちは、この知識と技術を生かし、緩和ケアチームや緩和ケア病棟などで、質の高い緩和ケアの提供に努めています。

Q. 緩和ケアチームではどのような支援を行っていますか？

A. 緩和ケアチームは、医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、医療ソーシャルワーカーなどで構成され、院内のさまざまな診療科や病棟で活動しています。がんだけでなく、心不全や呼吸器疾患、神経難病など、さまざまな病気に伴う痛みや息苦しさ、不安などの症状に対し、主治医や病棟スタッフと連携して支援します。

また、「ショットガンプロジェクト」では、認定看護師・特定看護師が地域へ出向き、訪問看護師やかかりつけ医と協力するとともに、出前講座などを通じて地域の緩和ケアの充実にも取り組んでいます。

Q. 患者さんやご家族の希望にはどのように対応していますか？

A. 「住み慣れた自宅で過ごしたい」「家族や大切なペットと一緒に過ごしたい」など、一人ひとりの思いを大切に、地域の医療・介護スタッフと連携しながら、その人らしい療養生活を支えています。

Q. 最後にメッセージをお願いします。

A. 緩和ケアは終末期だけのものではありません。病気の種類や病期、診療科を問わず、治療と並行して早い段階から受けることができます。痛みや息苦しさだけでなく、不安や療養生活の悩みなど、気になることがあればいつでもご相談ください。「まだ早いかな」と思ったときこそ、緩和ケアの始めどきです。私たちは患者さんやご家族に寄り添い、その人らしい毎日を支えていきます。



南九州病院の「緩和ケアチーム」



患者さんとそのご家族が抱える「身体的なつらさ」「精神的なつらさ」「社会的な悩み」などを和らげ、その人らしい生活を支援するために活動する多職種の医療チームです。

「緩和ケアチーム」の主なメンバー

- ・医師（内科・精神科）
- ・看護師（緩和ケア認定看護師を含む）
- ・薬剤師
- ・臨床心理士
- ・管理栄養士
- ・ソーシャルワーカー

地域医療連携クラウドサービスを導入

南九州病院では、地域医療連携クラウドサービス「C@RNA Connect(カルナコネクト)」を導入いたしました。従来通りの電話・FAXでの予約も可能ですが、クラウドサービスを利用したオンライン予約では24時間365日、CT・MRI・RI(骨シンチ)の検査予約が可能となります。今まで後日郵送していた画像・レポートも、読影レポートが作成され次第、オンラインで確認することができます。依頼施設さまは無料で使用できますが、オンライン予約を利用するためには申請が必要となります。アカウントの発行・登録に2週間程度の時間を要しますので、ご利用を検討されるご施設さまは当院放射線科 有満(TEL:0995-62-2121)までご連絡いただくと設定・動作説明に伺います。地域の医療機関の先生方とともに、患者さんにとってよりスムーズで質の高い医療提供を目指していますので、今後ともよろしくお願いいたします。

大型医療機器(CT・MRI・RI)予約フロー

電話・FAXの予約業務の流れ



XX月XX日は
空いていますか？

診療
情報
提供書

- 電話で予約枠の確認
- 診療情報提供書をFAX
- 同意書等の必要書類をFAX
- 診療情報提供書(原本)等の必要書類を患者さんに手渡す



- 予約希望日時の空き状況確認
- 予約枠を確保
- カルテ準備・オーダー入力
- 検査案内等をFAX

- ◎電話で予約枠の確認
- ◎予約時間は8:30～16:00

診療所様

当 院



診療
情報
提供書

検査案
内状

- 予約システム画面より予約
- 各書類を画面上で転送 or FAX
- 診療情報提供書(原本)等の必要書類を患者さんに手渡す



- 画面で予約確認
- オーダーリング入力
- カルテ準備

- ◎web画面上で予約枠の確認
- ◎予約は24時間365日可能

- 紹介窓口で受付
- 放射線科で検査実施
- PACSに画像送信

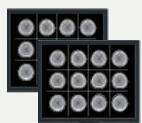
CT・MRI・RI



- 放射線科専門医が読影
- レポート作成

書類

○画像をCDに出力



- 読影レポート・診療情報提供書類のコピー・CDを郵送

結果は郵送となるため届くのは
3～4日後になります。



書類

- WEBにて読影レポート・診療情報提供書・画像の閲覧やダウンロードが可能

結果をすぐに閲覧・
ダウンロード可能となります。

子どもの発達と 食事を支える 新専門外来がスタート



地域に根差し、子どもの発達と成長を支える小児科医

Profile

岡本 真道 小児科医長
専門分野：小児科一般

Q. 最近、小児科外来で新しい専門外来を開設されたそうですね。

- A. 岡本：はい。このたび小児科では、乳幼児の発達に関する相談を行う「めぶき外来」と、胃ろうなどからの食事を支援する「注入食外来」を開設しました。

Q. まず、「めぶき外来」について教えてください。

- A. 「めぶき外来」は、お子さんの発達に関する悩みや心配事を相談できる専門外来です。言葉や食事に関する相談を行う「ことしょく外来」と、運動発達に関する相談を行う「とことこ外来」の2つがあります。「ことしょく外来」では、言葉が出ない、発音がはっきりしない、コミュニケーションが難しい、離乳食が進まない、偏食があるといった相談を受けています。

また、「とことこ外来」では、発達はしているがゆっくりしている、はいはいをしない、立たない・歩かない、手足の動きが気になるといった相談に対応しています。必要に応じて基礎疾患の検査を行うほか、臨床心理士、言語聴覚士、理学療法士、作業療法士、管理栄養士、MSW など多職種が連携し、お子さん一人ひとりに合わせた支援を行っています。

Q. 「注入食外来」はどのような外来ですか。

- A. 胃ろうを利用しているお子さんを対象に、ご家族が食べている食事をミキサーで調整して注入する「注入食」を支援する外来です。近年、「家族と同じ食事を食べさせてあげたい」という希望が増えています。

一方で、食事の作り方や注入方法の習得、食物アレルギーの確認といった課題もあります。そのため当院では、管理栄養士による指導や食物アレルギーの評価を行い、必要に応じて食物負荷試験も実施しながら、安全な注入食の導入を支援しています。

Q. 受診方法を教えてください。

- A. いずれの外来も完全予約制です。かかりつけの先生より FAX にて紹介状をいただき、ご家族より事前にお電話にてご予約していただきます。

Q. 最後に一言お願いします。

- A. お子さんの発達や食事について気になることがありましたら、ぜひご相談ください。多職種が連携しながら、お子さんとご家族に寄り添った支援を行ってまいります。

地域の医療を支える次世代を育てる

～始良・霧島地区新人看護職員研修を開催して～

当院では、国立病院機構の看護職員能力開発プログラムを基に、看護師の主体的な学習を推進し、看護師のキャリア形成を支援しています。レベルⅠ研修では、新人看護師を対象に年8回の研修を企画しており、そのうち5・6・11月は地域の新人看護師が参加できるような公開講座としています。これまで、6施設延べ33名の方が参加されています。

5月の看護技術習得研修では、「静脈内注射」「吸引」についての知識と技術を実践形式で学べるよう企画しました。プリセプターが指導者となり、看護技術の根拠や倫理的配慮などを伝えていきました。参加者の技術経験は様々でしたが「改めて手順や根拠を理解することができた」との意見が聞かれており、基本的な知識・技術を再確認することができていました。

6月の医療安全研修では、「輸液管理」と「輸血の基礎」をテーマに開催しました。輸液管理では、医師の指示に基づき正しく安全に投与できるように、医師の指示を正しく読み取ることやポンプの設定間違い、フリーフロー体験、アラーム対応などの内容としました。輸血の基礎では、副反応発生時の初動対応についてグループワークを実施し、異常へ早期に気づくことや適切な報告・連絡の重要性について理解を深められる内容としました。参加者からは、「楽しかった」「あまり取り扱わないため学びになった」などの意見があり、楽しみながら学習できたようです。

次回は11月にフィジカルアセスメント研修を予定しております。今後も、地域の医療機関で勤務する新人看護師が成長できる機会を提供すると共に、地域の医療を支える人材育成と看護の質向上に貢献できるよう取り組みを続けてまいります。今後ともよろしくお願いいたします。



出前講座をご活用ください！

当院では、地域の皆さまに貢献するべく、認定看護師、特定看護師がそれぞれの専門性を活かしたテーマで講座を計画しております。ご施設、地域団体の皆様、ぜひ、当院の出前講座をご活用ください。派遣を希望されるご施設・団体代表の方は、メールまたはFAXにてお申し込み下さい。詳細は当院ホームページをご確認ください。



問い合わせ・申し込み先：国立病院機構 南九州病院 副看護部長（渡邊）

メールアドレス：watanabe.mayumi.pk@mail.hosp.go.jp TEL:0995-62-2121・FAX:0995-63-1807

南九だより

2026 秋号 Vol.43 2026年10月 発行

発行：独立行政法人国立病院機構 南九州病院 〒899-5293 鹿児島県始良市加治木町木田 1882 TEL：0995-62-2121・FAX：0995-63-1807
地域連携・患者支援センター（直通） TEL：0995-63-0843・FAX：0995-63-0840 編集発行人：東元 一晃

南九州病院 公式 SNS 日々の取り組みやイベント情報を発信しています。



@nho_m_kyushu



minamikyushu_nho



NHO 南九州病院



公式 LINE も始めました！
外来の休診情報や
院内イベント情報等
をお届けしています。

VOL.43表紙

高齢者救急・循環器センター、そして緩和ケア棟。それぞれの場所で患者さんとご家族に寄り添うスタッフです。専門性をつなぎ、安心できる毎日を支えています。



<https://minamikyushu.hosp.go.jp/>